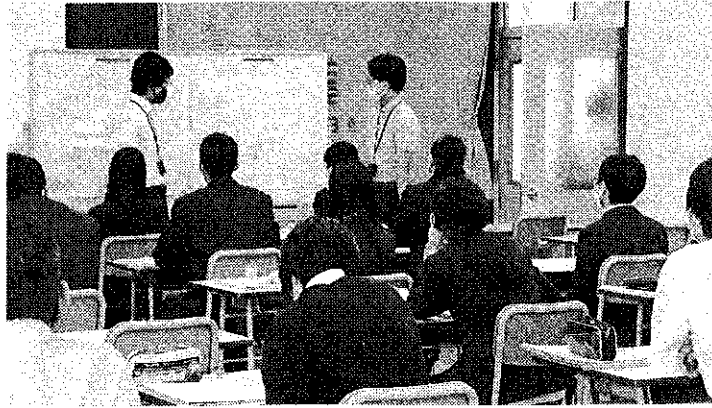


東北観光や震災に関心

白糠「久遠塾」 防災意識高める



東北地方への理解を深めた授業
（白糠町役場提供）

【白糠】白糠高校（田村信明校長）の2年生14人が13日、総合的な探求の時間の一環で公営塾「久遠塾」のスタッフによるサポート

授業を受けた。同塾スタッフの柴澤大夢さん（28）と中川裕貴さん（28）の講話を通して見学旅行先の東北地方への興味関心や防災意

識を高めた。

授業では、柴澤さんの出身地宮城県と中川さんの故郷岩手県のイメージやお薦めの観光地、イベントなどについての話や東日本大震災の体験談を聞いた。中川さんは「市役所に充電しに行く、明かりが何もなくなると、街がゴーストタウンのように感じた」と震災当時の状況を語った。

「被災地を巡る時には白糠が津波や地震になったと、きのことを考えてほしい。コロナで旅行先が変更になったが、東北地方も良い所がたくさんあるので思い出に残るものにして」と締めくくった。

菊地剛佑さん（2年）は「東北には世界遺産もあ

ると聞いたので、もう少し話を聞きたかった。震災についても関心が高まったので、実際に被災地を目で見てみたい」と話していた。